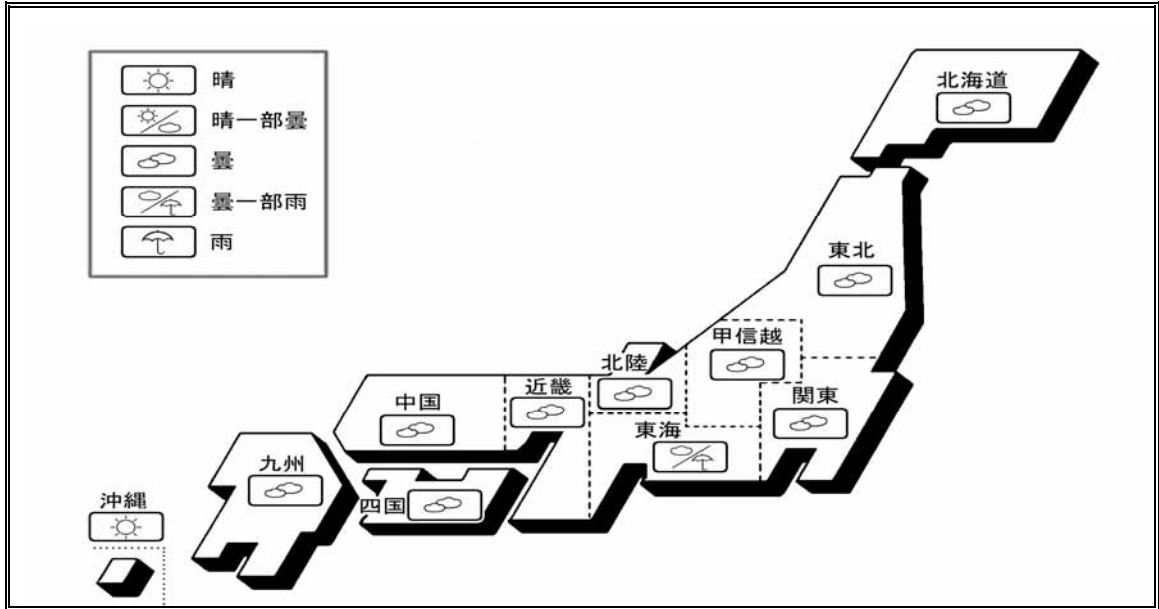





地方経済天気図（平成 26 年 12 月）

～消費関連の回復の遅れに加え、公共工事も足許減少し、足踏み～



各地の景況感

-  **東海**…輸出は上向いたものの、生産、設備投資が足踏み。住宅建築は着工件数の前年割れが続き、低調。
-  **北海道、九州**…公共工事が減速傾向。輸出は自動車関連を中心に増加基調。
- 東北**…個人消費は、乗用車販売に加え大型小売店販売も振るわず、低調。生産は輸送機械、電子部品が増産し、上向き。
- 関東、近畿**…住宅建築が減少。生産は横這い圏内の動き。
- 甲信越、中国**…個人消費、住宅建築ともに弱含み。設備投資は持ち直しの動き。
- 北陸、四国**…公共工事は高水準ながら、足許伸び悩み。
-  **沖縄**…公共工事が増加したほか、観光も好調。

地域別天気マークの推移・詳細（平成26年12月）

	平 25 年		平 26 年									
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月
北海道		→										
東北		→										
関東		→										
甲信越		→										
北陸		→										
東海		→										
近畿		→										
中国		→										
四国		→										
九州		→										
沖縄		→										

	景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
北海道									
東北									
関東									
甲信越									
北陸									
東海									
近畿									
中国									
四国									
九州									
沖縄									

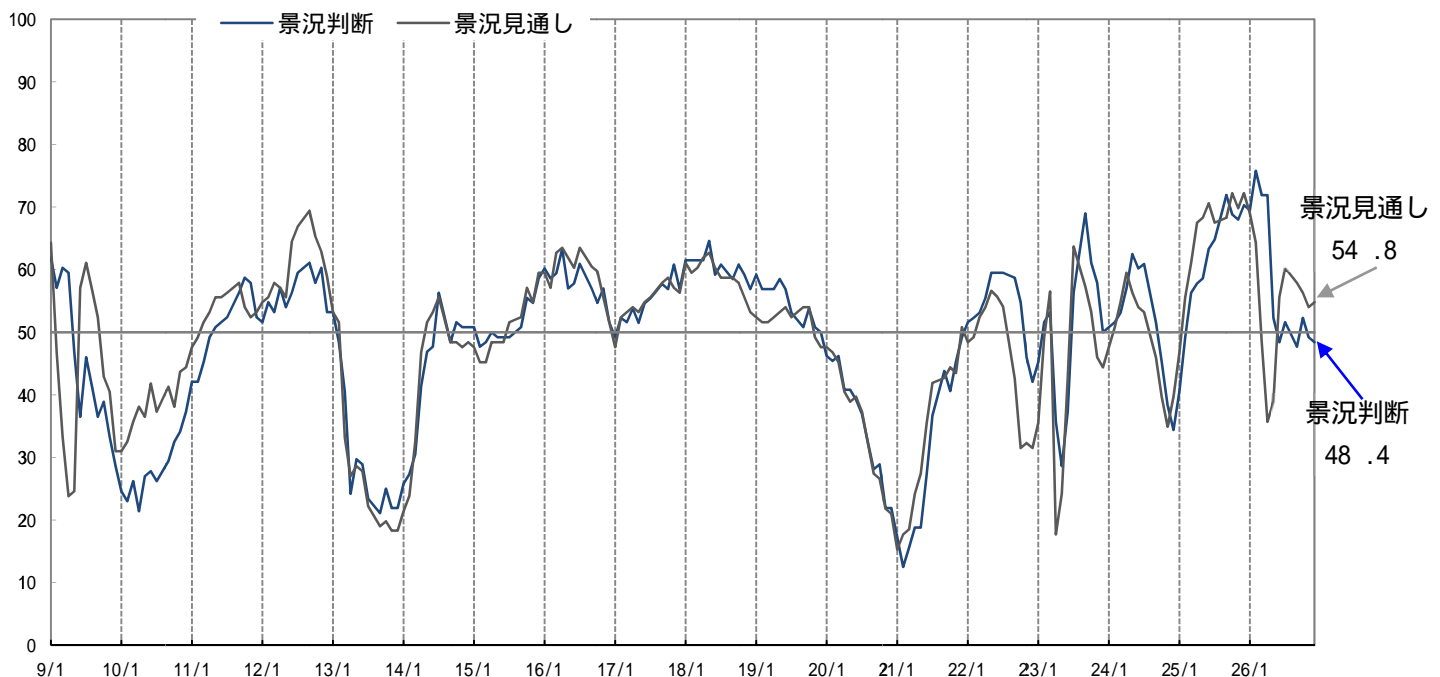
(注) 矢印は、前月から天気マークが変わったことを表す。

<参考> 地方経済天気図D I^(注)の変化と景況判断

平成26年
10月 11月 12月

景況判断：消費関連の回復の遅れに加え、公共工事も足許減少し、足踏み	52.3 → 50.0 → 48.4
景況見通し：回復テンポは緩慢	56.3 → 54.0 → 54.8

- 個人消費：乗用車販売が減少し、百貨店販売、スーパー販売も盛り上がりを欠く (49.2 → 48.4 → 44.5)
- 住宅建築：着工件数の減少が続き、低調 (32.8 → 34.4 → 33.6)
- 設備投資：一部に持ち直しの動きがみられるものの、全体として慎重な投資姿勢が続く (57.0 → 51.6 → 55.5)
- 公共工事：高水準の発注が続いてきたが、足許減少 (51.6 → 50.8 → 46.9)
- 輸 出：自動車、自動車部品などが増加し、上向き (50.0 → 57.7 → 56.7)
- 生産活動：自動車、電子部品が増産したものの、総じて横這い圏内の動き (53.1 → 46.1 → 53.9)
- 観 光：温泉地、観光地の入込客が振るわず、伸び悩み (50.0 → 58.0 → 53.6)
- 雇用情勢：新規求人数が増加し、有効求人倍率も上昇 (61.7 → 58.6 → 61.7)



(注) 地方経済天気図D Iとは、本調査に回答した全国地方銀行協会加盟行の景況や需要項目等に関する現況判断(好転・不変・悪化)を数値化したもの。算式は以下のとおり。

$$D I = \frac{\text{「好転」} \times 1.0 + \text{「不変」} \times 0.5 + \text{「悪化」} \times 0.0}{\text{回答銀行数}} \times 100$$

北海道 

北海道の景況は、住宅建築が弱含んでいるものの、設備投資、観光が持ち直すなど、**緩やかな持ち直し**。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、大型小売店販売、コンビニエンスストア販売が増加し、緩やかな持ち直し。**住宅建築**は、貸家、分譲住宅が増加したものの、持家が減少し、弱含み。**設備投資**は、製造業で投資計画を積み増す動きに加え、小売業に新規出店計画の動きがみられるなど、持ち直し基調。**公共工事**は、国が増加したものの、独立行政法人等、道、市町村が減少し、減速傾向。**輸出**は、米国向けの自動車部品、中国向けの魚介類が増加し、拡大基調。

生産活動は、電気機械、窯業・土石が増加したものの、一般機械が減少し、横這い圏内の動き。

- ・鉄鋼は、生産水準が上昇。
- ・金属製品は、生産水準が上昇。鉄骨・橋梁が増産。
- ・一般機械は、生産水準が低下。収穫機械が減産。
- ・電気機械は、生産水準が上昇。集積回路が増産。電力会社向け変圧器が増産。
- ・輸送機械は、生産水準が低下。トレーラーが減産。
- ・窯業・土石製品は、生産水準が上昇。東北向けセメントが増産。生コンクリートが増産。
- ・石油・石炭は、生産水準が上昇。韓国向けキシレンが増産。
- ・パルプ・紙は、生産水準が低下。大雨による工場トラブルに伴い減産。
- ・食料品は、生産水準が上昇。冷凍水産物が増産。

観光は、外国人客を中心に来道者数が高水準で推移し、回復。

- ・10月の来道者数は、前年比減少したものの、高水準で推移。外国人客は21か月連続で増加。円安などを背景にアジアからの観光客が引続き増加。

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、製造業、建設業で新規求人数も増加するなど、**緩やかな回復**。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

(注) 景況判断の文言は、会員銀行からの報告をもとに当協会で行きまとめたもの。

東北の景況は、輸出が持ち直し、雇用情勢が回復に向けた動きにあるものの、個人消費が低調となるなど、**一進一退**。

個人消費は、乗用車販売が減少したほか、大型小売店販売も飲食料品、衣料品が減少し、低調。**住宅建築**は、貸家、分譲住宅が増加したものの、持家が減少するなど、減少基調。**設備投資**は、需要の先行き不透明感から、一部に投資抑制姿勢がみられるなど、伸び悩み。**公共工事**は、国が減少したものの、独立行政法人等、県、市町村が増加し、上向き。**輸出**は、一般機械、船舶が増加し、持ち直しの動き。

生産活動は、輸送機械、電子部品・デバイスが増加するなど、上向き。

- ・鉄鋼は、生産水準が低下（青森、秋田）。
- ・金属製品は、生産水準が上昇（秋田）、低下（岩手）。
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（青森、岩手、宮城、山形）、低下（秋田）。
- ・情報通信機械は、生産水準が低下（岩手）。
- ・電子部品・デバイスは、生産水準が上昇（岩手、秋田、山形）。集積回路が減産、半導体素子、電子部品が増産（山形）。
- ・輸送機械は、生産水準が上昇（岩手、山形）、低下（青森）。自動車部品が増産（山形）。
- ・窯業・土石製品は、生産水準が低下（岩手）。
- ・化学は、生産水準が上昇（青森、山形）、低下（福島）。医薬品・医薬部外品が増産（山形）。
- ・繊維は、生産水準が上昇（福島）。
- ・パルプ・紙・紙加工品は、生産水準が低下（青森）。
- ・食料品は、生産水準が上昇（青森、山形）、低下（秋田）。リンゴは、県外出荷量が増加（青森）。清酒は、出荷量が減少（秋田）。調理食品、肉製品、菓子類、農産保存食品が減産（山形）。

観光は、観光施設への入込客が増加し、上向き。

- ・11月の県内主要観光地・観光施設の入込客は、第29回国民文化祭・あきた2014の効果などから、持ち直し（秋田）。
- ・10月の主要観光施設入込客は前年比減少、主要宿泊施設の宿泊者数は増加（青森）。
- ・10月の主要観光地の入込客は、小岩井農場、龍泉洞への個人客が増加するなど、前年比増加（岩手）。
- ・観光キャンペーン期間中（6-9月）の県内主要観光地の入込客数は、前年比増加（山形）。
- ・9月の県内3地区（福島、郡山、会津若松）の温泉旅館利用者数は、前年比減少（福島）。

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、医療・福祉で新規求人数が増加するなど、緩やかながら回復に向けた動き。

先行きは、緩やかな持ち直しに向かうとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢
								

関東

関東の景況は、輸出が上向き、個人消費が一部で持ち直したものの、住宅建築が低調となるなど、**一進一退**。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、百貨店販売で化粧品や衣料品、スーパー販売で食料品を中心に増加したほか、コンビニエンスストア販売も増加するなど、一部に持ち直しの動き。**住宅建築**は、貸家が増加したものの、持家、分譲住宅が減少するなど、低調。**設備投資**は、製造業、非製造業ともに投資計画を積み増す動きがみられるなど、緩やかな持ち直し。**公共工事**は、国、独立行政法人等が減少し、足許減少。**輸出**は、有機化合物、鉄鋼が増加し、やや上向き。

生産活動は、電気機械、情報通信機械が増加したものの、窯業・土石製品が減少するなど、横這い圏内の動き。

- ・鉄鋼は、生産水準が上昇（千葉）、低下（茨城）。
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（茨城、神奈川）、低下（栃木）。生産用機械の生産水準が上昇（千葉）、業務用機械の生産水準が上昇（東京）。蒸気タービン部品、フラットパネル・ディスプレイ製造装置が増産、半導体製造装置、プレス用金型が減産（神奈川）。
- ・電気機械は、生産水準が上昇（栃木、群馬、千葉、神奈川）。
- ・情報通信機械は、生産水準が上昇（栃木、群馬、千葉、神奈川）、低下（東京）。外部記憶装置、無線応用装置が増産（神奈川）。
- ・電子部品・デバイスは、生産水準が上昇（群馬、神奈川）、低下（東京）。
- ・輸送機械は、生産水準が上昇（群馬、神奈川）、低下（栃木、埼玉）。
- ・化学は、生産水準が上昇（茨城、栃木、東京）、低下（千葉、神奈川）。
- ・窯業・土石製品は、生産水準が低下（千葉）。
- ・石油・石炭製品は、生産水準が上昇（千葉）。
- ・和装品は、浴衣関連商品の生産が低調（群馬）。
- ・食料品は、生産水準が上昇（神奈川）、低下（茨城、栃木）。

観光は、観光地への入込客が増加するなど、上向き。

- ・10月の県内主要温泉地宿泊客数は、富岡製糸場等への観光客増加などから、全体では3か月連続で前年比増加。11月の世界文化遺産の「富岡製糸場と絹産業遺産群」の観光客数は前年比大幅増加（群馬）。
- ・10月のベイエリアホテルの客室稼働率は、高水準を維持（千葉）。
- ・10月の県内ホテルの客室稼働率は、横浜が前年比減少、箱根が増加（神奈川）。
- ・9月のゴルフ利用人員は、前年比増加（栃木）。
- ・県内公設海水浴場の入込客（7月19日～8月29日）は、前年比減少（茨城）。

雇用は、建設業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉などで新規求人数が増加し、持ち直し。

先行きは、緩やかな持ち直しに向かうとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢
		↓ 						

甲信越の景況は、住宅建築が低調となったものの、設備投資、輸出が持ち直すなど、**緩やかな持ち直しの動き**。

個人消費は、乗用車販売が減少したほか、百貨店販売で衣料品、高額品が減少するなど、足踏み。**住宅建築**は、持家、分譲住宅が減少し、低調。**設備投資**は、製造業で生産能力増強や合理化・省力化に向けた投資、非製造業で新規出店や店舗改装がみられるなど、持ち直し。**公共工事**は、国が減少するなど、減少傾向。**輸出**は、中国向けのプラスチック、紙および板紙が増加し、緩やかな持ち直し。

生産活動は、電気機械、情報通信機械が増加したものの、金属製品、汎用・生産用・業務用機械が減少し、足踏み。

- ・ 金属製品は、金属洋食器の受注が弱含み（新潟）。
- ・ 汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（新潟）、低下（長野）。圧縮機、油圧・空気圧機械などが減産（長野）。自動車関連の受注は順調、建設・プラント向け大型機械の受注が堅調。IT、デジタル関連の受注はアジアなどの海外向けに減速感（新潟）。半導体製造装置の受注・生産が好調。液晶製造装置の受注・生産は堅調。カメラ部品は、デジタル一眼レフカメラ向けの受注・生産が増加。医療機器の受注・生産は安定的に推移（山梨）。鋳物は受注が弱含み（新潟）。
- ・ 電気機械は、生産水準が上昇（長野）。電気計測器などが増産（長野）。コンピュータ数値制御装置の受注・生産は好調に推移。スマートフォン向け水晶振動子の受注・生産は足許減少。リードフレームは車載関連の受注・生産が堅調に推移（山梨）。
- ・ 情報通信機械は、生産水準が上昇。パソコン関連機器などが増産（長野）。
- ・ 電子部品・デバイスは、生産水準が上昇（新潟）、低下（長野）。電子部品が減産（長野）。
- ・ 輸送機械は、自動車部品の受注・生産が横這い圏内の動き（山梨）。
- ・ ニットは、受注が横這い圏内で推移。ネクタイ地は、冠婚葬祭向けの受注が伸び悩み、制服向けなどの小ロット受注が堅調に推移、紳士服裏地の受注は前年並み（山梨）。
- ・ 食料品は、生産水準が低下（長野）。野菜加工食品、味噌などが減産（長野）。清酒は、出荷量が前年並み（新潟）。ワインは、出荷が強含みで推移（山梨）。
- ・ 宝飾は、受注・生産が横這い圏内で推移（山梨）。

観光は、観光地への入込客が振るわず、盛り上がりを欠く。

- ・ 10月の県内観光は、天候不順の影響から、入込客は前年を下回る（山梨）。
- ・ 10月の主要温泉地の入込客数は、上諏訪温泉、昼神温泉ともに前年比増加（長野）。

雇用は、製造業、建設業で新規求人数が増加するなど、持ち直しの動き。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

北陸の景況は、生産活動が持ち直しているものの、住宅建築が弱含み、公共工事が減少傾向にあるなど、**持ち直しの動きが一服**。

個人消費は、大型小売店販売が飲食料品を中心に増加したものの、乗用車販売が減少し、一進一退。**住宅建築**は、貸家が増加したものの、持家、分譲住宅が減少し、弱含み。**設備投資**は、需要の先行き不透明感から、一部に投資抑制姿勢がみられるなど、伸び悩み。**公共工事**は、国、県が減少するなど、減少傾向。**輸出**は、地場産業の眼鏡・眼鏡枠が減少したものの、科学光学機器が増加し、一進一退。

生産活動は、医薬品が高水準の生産を持続したほか、非鉄金属が増加するなど、緩やかな持ち直し。

- ・鉄鋼は、生産水準が低下（富山）。
- ・非鉄金属は、生産水準が上昇（富山）。
- ・金属製品は、生産水準が低下（富山）。アルミニウム非建材製品、住宅規格商品の生産・出荷は増加、民生用包装容器の生産・出荷は減少（富山）。
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（富山、石川）。自動車、航空機向けの軸受の生産・出荷は増加（富山）。
- ・電気機械は、生産水準が上昇（石川）、低下（富山）。変圧器・配電盤が増産、半導体、電子機器が減産（富山）。
- ・輸送機械は、生産水準が上昇（富山）、低下（石川）。
- ・プラスチック製品は、生産水準が上昇（富山、石川）。
- ・窯業・土石製品は、生産水準が低下（富山）。
- ・パルプ・紙・紙加工品は、生産水準が上昇（石川）、低下（富山）。
- ・医薬品は、高水準の生産を持続（富山）。
- ・食料品は、生産水準が低下（石川）。
- ・繊維は、生産水準が上昇（福井）。

観光は、温泉地の入込客が振るわず、盛り上がりを欠く。

- ・9月の県内主要温泉地の浴客数は前年比減少。主要観光地の入込客数は前年比増加。外国人観光客が引続き増加（石川）。
- ・9月の宇奈月温泉宿泊客数は、前年比減少（富山）。
- ・9月の芦原温泉宿泊客数は、前年比減少（福井）。

雇用は、製造業、建設業、サービス業など幅広い業種で新規求人数が増加するなど、持ち直し。

先行きは、緩やかな持ち直しに向かうとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

東海の景況は、個人消費が弱含み、住宅建築が低調となるなど、**弱含み**。

個人消費は、大型小売店販売が増加したものの、乗用車販売が普通・小型乗用車、軽乗用車ともに減少するなど、弱含み。**住宅建築**は、持家、分譲住宅が減少するなど、低調。**設備投資**は、需要の先行き不透明感から、一部に投資抑制姿勢がみられるなど、足踏み。**公共工事**は、国、県が減少するなど、足許減少。**輸出**は、自動車、自動車部品が増加し、上向き。

生産活動は、電子部品・デバイス、プラスチック製品が増加したものの、鉄鋼、石油・石炭製品が減少し、横這い圏内の動き。

- ・鉄鋼は、生産水準が低下（愛知）。
- ・非鉄金属は生産水準が上昇（静岡）。
- ・金属製品は、生産水準が上昇（岐阜）、低下（三重）。
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（静岡、愛知）、低下（岐阜）。生産用機械は上昇、業務用機械は生産水準が低下（三重）。
- ・電気機械は、生産水準が上昇（愛知）、低下（岐阜）。
- ・電子部品・デバイスは、生産水準が上昇（三重）。
- ・輸送機械は、生産水準が上昇（岐阜、愛知）、低下（静岡、三重）。
- ・窯業・土石製品は、生産水準が低下（岐阜）。
- ・化学は、生産水準が上昇（岐阜）、低下（静岡、三重）。
- ・石油・石炭製品は、生産水準が低下（愛知）。
- ・プラスチック製品は、生産水準が上昇（岐阜、愛知、三重）。
- ・パルプ・紙・紙加工品は、生産水準が上昇（静岡）。
- ・繊維は、生産水準が低下（岐阜）。
- ・食料品は、生産水準が低下（静岡、愛知）。

観光は、観光地の入込客が振るわず、足踏み。

- ・10月の高山市入込客数、長良川温泉宿泊客数は前年比増加、長良川鶺鴒観覧船乗客数、下呂温泉宿泊者数は減少（岐阜）。
- ・10月の伊豆地区主要旅館の売上高は増加、宿泊客数は減少（静岡）。
- ・10月の中部国際空港の旅客数は、前年比減少（愛知）。
- ・9月の県内主要水族館入場者数は、4か月連続で減少（三重）。

雇用は、新規求人数、所定外労働時間が増加するなど、緩やかながら回復の動き。

先行きは、弱含みで推移するとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢	
↓ 									

近畿

近畿の景況は、輸出が回復に向けた動きにあるものの、住宅建築が弱含むなど、一進一退。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、大型小売店販売で飲食料品を中心に増加するなど、一部に持ち直しの動き。**住宅建築**は、持家、貸家、分譲住宅いずれも減少するなど、弱含む。**設備投資**は、大企業に加え、中小企業も投資計画を積み増す動きがみられるなど、持ち直し。**公共工事**は、独立行政法人等が減少したものの、国、市町村が増加し、足許増加。**輸出**は、一般機械（建設用・鉱山用機械）、科学光学機器が増加するなど、緩やかながら回復に向けた動き。

生産活動は、鉄鋼、金属製品が増加したものの、プラスチックが減少するなど、横這い圏内の動き。

- ・鉄鋼は、生産水準が上昇（和歌山）。
- ・非鉄金属は、生産水準が低下（奈良）。
- ・金属製品は、生産水準が上昇（滋賀、奈良）。
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（滋賀、和歌山）、低下（奈良）。自動車向け、半導体関連が好調（京都）。発電用機械が弱めの動き、産業用機械が回復（兵庫）。
- ・電気機械は、生産水準が上昇（滋賀、京都）、低下（奈良、和歌山）。自動車関連が回復、産業用機械向けが弱めの動き（兵庫）。
- ・電子部品・デバイスは、スマートフォン向け、太陽光発電向け、自動車向けが高操業、薄型テレビなどの家電向け、パソコン向けが低調（京都）。
- ・輸送機械は、生産水準が低下（滋賀）。自動車が高操業に一服感（京都）。造船が下げ止まり、航空機が好調に推移、自動車は弱含む（兵庫）。
- ・窯業・土石製品は、生産水準が上昇（滋賀）。
- ・化学は、生産水準が上昇（奈良、和歌山）、低下（滋賀）。
- ・プラスチックは、生産水準が低下（滋賀）。
- ・繊維は、生産水準が上昇（和歌山）。丹後ちりめんは減産、西陣帯地は増産（京都）。
- ・食料品は、生産水準が上昇（滋賀）、低下（和歌山）。清酒の蔵出量が増加（京都）。

観光は、ホテルの客室稼働率が上昇するなど、持ち直し。

- ・10月の県内主要観光地の入込客数は、NHK大河ドラマの効果などから、長浜、彦根周辺の観光施設が堅調に推移（滋賀）。
- ・10月の主要ホテルの客室稼働率は、前年比上昇、宿泊客数も増加（京都、奈良）。
- ・11月の白浜温泉宿泊客数は、5か月ぶりに前年比増加（和歌山）。
- ・9月の神戸市内主要ホテルの客室稼働率は、高水準で推移（兵庫）。

雇用は、有効求人倍率が上昇したものの、新規求人数が減少するなど、回復の動きが一服。

先行きは、緩やかな持ち直しに向かうとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢
								

中国

中国の景況は、輸出が上向き、生産活動が持ち直しているものの、個人消費、住宅建築が弱含むなど、**持ち直しの動きが一服**。

個人消費は、乗用車販売が減少したほか、大型小売店販売も減少するなど、弱い動き。**住宅建築**は、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少し、弱含む。**設備投資**は、製造業を中心に投資計画を積み増す動きがみられるなど、緩やかながら回復に向けた動き。**公共工事**は、国、県が増加し、緩やかな持ち直し。**輸出**は、自動車、鉄鋼、化学製品が増加するなど、上向き。

生産活動は、自動車、鉄鋼が増加し、緩やかな持ち直し。

- ・鉄鋼は、生産水準が上昇（岡山、広島、山口）。特殊鋼は、自動車、エレクトロニクス関連を中心に高水準、工作機械用鋳物は、設備投資の持ち直しに伴い、堅調（島根）。
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（広島）。
- ・電気機械は、生産水準が上昇（広島）。
- ・電子部品・デバイスは、生産水準が上昇（鳥取）。自動車、通信機器向けが持ち直し（島根）。
- ・自動車は、生産水準が上昇（岡山、広島）、高水準で推移（山口）。
- ・窯業・土石製品は、生産水準が高水準を維持（山口）。生コンに減速感（島根）。石州瓦は生産調整の動き（島根）。
- ・化学は、生産水準が持ち直し（岡山、山口）。
- ・食料品は、生産水準が上昇（鳥取）。

観光は、温泉地、観光地の入込客数が減少するなど、盛り上がりを欠く。

- ・10月の主要温泉地宿泊客数は、はわい温泉、皆生温泉、三朝温泉いずれも減少し、全体でも前年比減少（鳥取）。
- ・10月の主要観光施設利用者数は6か月連続で前年比減少。主要温泉地宿泊客数は5か月連続で前年比減少。出雲大社の遷宮特需の反動が徐々に始まる（島根）。
- ・10月の県内主要観光地入込客数は、2か月ぶりに前年比減少（岡山）。
- ・9月の水族館「海響館」の入館者数、錦帯橋の渡橋者数ともに減少し、低迷（山口）。

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、製造業などで新規求人数が増加するなど、緩やかながら回復に向けた動き。

先行きは、緩やかな持ち直しに向かうとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢
								

四 国

四国の景況は、設備投資が持ち直しているものの、個人消費、住宅建築が弱含むなど、**持ち直しの動きが一服**。

個人消費は、乗用車販売が減少したほか、大型小売店販売も衣料品や家電品で減少するなど、弱含む。**住宅建築**は、持家、貸家、分譲住宅いずれも減少し、減少基調。**設備投資**は、製造業で投資計画を積み増す動きがみられ、持ち直し。**公共工事**は、国、独立行政法人等、県、市町村いずれも減少し、減速傾向。**輸出**は、化学製品が増加したものの、船舶が減少し、横這い圏内の動き。

生産活動は、汎用・生産用・業務用機械、パルプ・紙・紙加工品が増加したものの、鉄鋼、金属製品が減少し、一進一退。

- ・鉄鋼は、生産水準が低下（徳島、高知）。
- ・金属製品は、生産水準が低下（徳島）。
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（香川、愛媛）。
- ・電気機械は、生産水準が上昇（徳島、高知）、低下（愛媛）。
- ・輸送機械は、生産水準が低下（愛媛）。
- ・化学は、生産水準が上昇（徳島、香川）。
- ・パルプ・紙・紙加工品は、生産水準が上昇（愛媛）。
- ・プラスチックは、生産水準が低下（徳島）。
- ・食料品は、生産水準が上昇（徳島）、低下（愛媛）。
- ・繊維は、生産水準が上昇（徳島）、低下（香川）。

観光は、ホテルや旅館の宿泊客数が伸び悩むなど、盛り上がりを欠く。

- ・10月の徳島市内主要ホテル・旅館の宿泊客数は、インターネット予約によるビジネス客が堅調に推移したほか、学会等の開催により、全体では前年比増加（徳島）。
- ・10月の県内主要観光地入込客数は、前年比増加（香川）。
- ・10月の道後温泉旅館宿泊客数は前年比増加、県内主要観光施設の入込客数は減少（愛媛）。
- ・10月の県内主要観光施設利用実績、高知市内主要ホテル・旅館の宿泊客数ともに前年比減少（高知）。

雇用は、現金給与総額が増加したものの、有効求人倍率が低下するなど、回復に向けた動きが一服。

先行きは、緩やかな持ち直しに向かうとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

九州

九州の景況は、住宅建築が弱含んでいるものの、輸出、生産活動が持ち直すなど、**緩やかな持ち直しの動き**。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、大型小売店販売で衣料品、食料品が増加するなど、一部に持ち直しの動き。**住宅建築**は、貸家が増加したものの、持家、分譲住宅が減少し、弱含み。**設備投資**は、製造業で電気自動車関連、非製造業で大型不動産などの投資計画を積み増す動きがみられ、緩やかな持ち直し。**公共工事**は、国、独立行政法人等、市町村が減少するなど、減少傾向。**輸出**は、石油製品、中国向けの自動車が増加するなど、上向き。

生産活動は、電子部品・デバイス、窯業・土石製品が増加するなど、やや上向き。

- ・鉄鋼は、生産水準が上昇（福岡）、低下（大分）。金属製品は、生産水準が上昇（福岡）。
- ・汎用・生産用・業務用機械は、生産水準が上昇（熊本）、低下（福岡、佐賀）。機械・重電は生産高が減少（長崎）。
- ・電気機械は、生産水準が上昇（大分）、低下（佐賀）。
- ・情報通信機械は、生産水準が上昇（佐賀）。
- ・電子部品・デバイスは、生産水準が上昇（長崎、大分、宮崎）、低下（福岡）。自動車向けが好調、スマートフォン向けがやや持ち直し（鹿児島）。
- ・輸送機械は、生産水準が上昇（熊本）、低下（福岡）。大手・中堅造船は生産高が増加（長崎）。
- ・化学は、生産水準が上昇（宮崎）、低下（佐賀、熊本）。
- ・プラスチック製品は、生産水準が上昇（佐賀）。
- ・窯業・土石製品は、生産水準が上昇（福岡、大分）。
- ・繊維は、生産水準が上昇（宮崎）。
- ・食料品は、生産水準が低下（熊本）。焼酎は、生産が減少（鹿児島）。

観光は、宿泊施設の入込客が振るわず、盛り上がりを欠く。

- ・10月の唐津地区の入込客は、前年比並み。嬉野地区は近年にない好調（佐賀）。
- ・10月の別府周辺地区の入込みは、宿泊者数が増加、レジャー施設入場者数が減少（大分）。
- ・10月の県内主要ホテル・旅館の宿泊客数は、関西地区や九州地区からの入込客などが減少し、全体では2か月ぶりに前年比減少（鹿児島）。
- ・10月の主要宿泊施設の宿泊客数は前年比増加、9月の主要観光施設の入場者数は減少（長崎）。

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、所定外労働時間、現金給与総額が増加するなど、緩やかな持ち直し。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

沖縄の景況は、個人消費、公共工事、観光が回復に向けた動きにあるなど、**拡大**。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、百貨店販売が衣料品を中心に増加、スーパー販売も食料品を中心に増加するなど、回復に向けた動き。**住宅建築**は、持家、分譲住宅、貸家いずれも減少し、減速傾向。**設備投資**は、建築着工床面積が減少するなど、一進一退。**公共工事**は、国、市町村が減少したものの、県が増加するなど、拡大の動き。**輸出**は、一般機械、石油製品が減少したものの、金属鉱およびくずが増加し、緩やかな持ち直し。

生産活動は、横這い圏内の動き。

- ・化学・石油製品は生産水準が低下したものの、金属製品、窯業・土石製品、プラスチック製品、食料品が上昇し、9月の鉱工業生産全体では前月比上昇。
- ・10月の生コン出荷量は、民間工事向けが減少したものの、公共工事向けが防衛省関連や県企業局関連で増加し、全体では2か月連続で前年比増加。

観光は、国内客、外国人客ともに増加し、好調。

- ・10月の入域観光客数は、沖縄方面への継続的な旅行需要や航空路線の拡充などから、国内客が増加したほか、外国人客も航空路線の拡充やクルーズ船の寄港の効果などから増加し、全体では25か月連続で前年比増加。
- ・10月の主要ホテル客室稼働率は、2か月連続で前年比上昇。売上高は、11か月連続で前年比増加。
- ・10月の主要ゴルフ場入場者数は、台風の影響により、5か月連続で前年比減少。

雇用は、有効求人倍率が上昇したほか、完全失業率も改善するなど、回復に向けた動き。

先行きは、拡大の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								